

総合的な探究の時間の第1の目標 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	学校の教育目標 総合学科の理念を生かし、一人一人の個性の伸長を図るとともに、生涯学習の礎となる知・徳・体を確立させ、時代の変化に応じて、創造的にキャリアを形成しながら社会に貢献できる人材を育成する。 【5C＝5つの力（Chikara）の育成】 <table><tr><td>Challenge</td><td>挑戦する力</td><td>Choice</td><td>選択する力</td></tr><tr><td>Change</td><td>変化させる力</td><td>Communication</td><td>つながる力</td></tr><tr><td>Career</td><td>自分の未来を切り拓く力</td><td></td><td></td></tr></table>	Challenge	挑戦する力	Choice	選択する力	Change	変化させる力	Communication	つながる力	Career	自分の未来を切り拓く力		
Challenge	挑戦する力	Choice	選択する力										
Change	変化させる力	Communication	つながる力										
Career	自分の未来を切り拓く力												

各学校で定める目標と育成する資質・能力 ・課題を発見し、解決することに主体的に挑戦できる。 Challenge ・探究の成果を自己の進路選択に生かそうとすることができる。 Choice ・日々の学習と社会との結びつきに気づくことができる。 Change ・情報を集めて分析したことを表現することができる。 Communication ・実社会や実生活と自己との関わりから課題を立てて追究し、自己の在り方生き方について考えを深めることができる。 Career	総合的な探究の時間の学習評価 ・課題の発見と解決に必要な統合的に活用できる知識及び技能を身に付けること。 ・探究の意義や価値について理解し、実社会や実生活と自己との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析してまとめ・表現すること。 ・活動に主体的に取り組み、互いの良さを生かしながら、よりよい社会を実現しようとする。 ○授業中の発言 ○グループ活動等への取り組み ○個別課題への取り組み ○提出物（レポート等）や発表資料 ○発表
--	---

生徒の実態 ・自ら課題を立て、解決に向けて情報を集め、整理・分析したり、まとめ・表現したりする力が十分でない。 ・積極的に協働したり、集団での活動をリードしたりすることが苦手である。 ・身近な課題を各教科等での学習と結び付けて捉える力が十分でない。	生徒の発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする生徒への指導 ・生徒が自分事として捉え、探究に主体的に取り組みやすいテーマの設定。 ・ICTを活用した資料の提示等、生徒の興味関心の喚起を目指した指導方法の工夫。 ・見通しを持って探究活動を進めるためのスモールステップの課題の提示。	目指す生徒の姿 ・自ら課題を立て、解決に向けて情報を集め、整理・分析したり、まとめ・表現したりする力を身に付けている。 ・課題解決に向けて積極的に協働したり、集団での活動をリードしたりすることができる。 ・身近な課題を各教科等での学習と結び付けて捉えることができる。
--	--	---

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力） 1～3年次において、自らの進路、身近な地域、修学旅行の訪問先などについて、各教科・科目などにおける見方・考え方を総合的に活用し、様々な角度から捉え、探究する活動を行う。また、探究活動の方法を学ぶことで、自己の将来の探究に役立てる。 1年次：学校や地域の特色についての探究 2年次：修学旅行の訪問先について探究 地域の課題を発見し解決にむけての探究 3年次：自己（進路）についての探究	学習活動、指導方法等 ・身近な地域や修学旅行で訪れる沖縄などをテーマに、個人やグループで課題を設定し、情報を集め、各教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に活用し、整理・分析してレポートやポスターとしてまとめたり、パワーポイントを使用して発表したりする。 ・実社会・実生活の課題について追究する過程で、自己の在り方・生き方についての考えを深める。 ・グループで課題を見いだし、問題を協働的に解決する活動を行う。
---	--

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携） ・総合的な探究の時間の学習を通して身に付けさせる資質・能力について職員全体で共有すること。 ・横断的な学習の展開や、生徒が意識的に複数の教科・科目の見方・考え方を働かせるようにするための手立てに関する校内研修の実施。 ・地域に関する探究テーマの設定に向けた地域課題の把握と、地域との連携。 ・探究の基礎的な技能を身に付け、見通しを持たせるための指導の計画。 ・他校での公開授業や、校外研修への積極的な参加。
--